

# 郷土愛を育てるふるさと検定

— 『津島の達人ジュニア検定』 の実践を通して —

Affection for its home district From home country official approval  
—through the practice “Junior history official approval  
Tsushima ”pass—

浅井厚視 Atsushi ASAI

## 概要

『歴史とは過去と未来との対話である』（E・H・カー）

子どもたちが身近な地域の歴史に気づき、正しい知識や情報を手に入れ、地域の課題を解決するための方法を考える場が必要となる。私は主として観光を目的として、或いは生涯学習の一環として行われてきた「ご当地検定」「ふるさと検定」のジュニア版を創り出すことを提案してきた。これはふるさと検定の教材化を進めた研究である。郷土愛あふれるまちづくりを進める一方法として『ふるさと検定』のジュニア版を進めていきたいという提案である。

この検定は、平成 22 年 1 月にスタートしすでに 5 年。津島市・津島市教育委員会・津島ロータリークラブ・津島法人会・NPO まちづくり津島・市校長会の後援を得て、小学校 6 年生を対象として行ってきた「津島の達人ジュニア検定」の実践記録である。この検定は平成 22 年 1 月にスタートして、すでに 5 年以上の実績をもち成果をあげているが、同時に新しい課題もみえてきた。

## キーワード

郷土愛 ふるさと検定（ご当地検定） 津島の達人ジュニア検定 津島の達人ジュニア選手権  
津島の達人ジュニア検定出前授業 津島の達人ジュニア選手権直前対策講座

## 目次

- 1 ふるさと検定とは
- 2 『郷土愛を育てる』とは
- 3 『津島の達人 ジュニア検定』の展開
- 4 実践記録『津島の達人 ジュニア検定』
- 5 実践記録『津島の達人 ジュニア選手権』
- 6 成果と課題

### 1 ふるさと検定（ご当地検定）とは

ふるさと検定（ご当地検定）のはじまりは、平成 15 年（2003）日本文化普及交流機構が行った「博多っ子検定」と言われている。翌年から始まった「京都・観光文化検定試験」は、京都商工会議所が主催する試験で、試験の対象が京都という人気スポットということもあって、マスコミに取り上げられ、近隣の他府県だけでなく、全国から応募が殺到した。ふるさと検定が地域振興の一翼を担い、まちづくり

にとって必要なアイテムとなり、ふるさとを見直す手段として注目を浴びるきっかけとなった。現在『東京シティガイド検定』『金沢検定』『会津ものしり検定』『鎌倉観光文化検定』『なにわなんでも大阪検定』『奈良まほろばソムリエ検定』『萩ものしり博士検定』など全国で多方面・多種類の検定が開催されている。なかには、「食」とか「観光」とか「名物」とか「歴史上の人物」に限定したマニアックなものもあり、実生活や就職のための資格として役立つものは少な

いが、生涯学習社会の中で、「知」を楽しむ内容となっている。

表1は各地域の商工会議所が主催する検定と「日本文化普及交流機構」に登録されたふるさと検定の一覧である。どの地域が多いというよりも、全国どこでも実施されているのが正しいようである。またふるさと検定の経年変化を見ると、横ばい若しくは微減で、年々数が増えていった時期に比べると現在は減少傾向にある。

表1. 各地域商工会議所主催、日本文化普及交流機構登録のふるさと検定の数  
(単位:実施検定数)

各地方名	地域商工会議所主催 平成23年度	地域商工会議所主催 平成27年度	日本文化普及交流 機構登録
北海道	11	11	12
東北	7	7	15
北陸信越	8	8	6
関東	14	16	23
東海	10	9	17
近畿	12	6	34
中国	13	13	17
四国	5	5	8
九州	10	11	13

愛知県でも商工会議所が中心となって『尾張一宮学検定』（平成19年度～）『名古屋400年時代検定』（平成20年度～）『半田ふるさと検定』（平成22年度～）『岡崎家康公検定』（平成22年度～）『名古屋城検定』（平成22年度～）が実施されている。『信長の台所歴史検定 津島の達人』は平成20年度から津島商工会議所が主催し、平成27年3月まで年1回ずつ8回実施されている。

また、ふるさと検定のジュニア版（生徒向・児童向）の検定は学校教育ではなく、生涯学習の範疇で開催されているものが多いが、山口県周南市の『周南市子ども歴史検定』（平成22年度～）と新潟県燕市の『燕市ジュニア検定』（平成24年度～）は学校教育で扱われている数少ない実践である。『信長の台所歴史検定 津島の達人』（以下『津島の達人ジュニア歴史検定』と記載、平成22年度～）は津島市内の小学校6年生全員が受検している。今年度で6年目を迎えた「ふるさと検定」を教材化した地域に根ざした教育実践となっている。

## 2 『郷土愛を育てる』とは

昭和40年代（小学校は昭和43年、中学校は昭和44年）、文部省は学習指導要領の用語であった「郷

土」を「地域」という言葉に訂正していった。これは「郷土」という言葉がもつ曖昧さを避け、子どもたちが生活している場所を「地域」（身近な地域）と記した。そして日本全体を「我が国」「郷土」ととらえる方向性を持ちながら、「日本（世界）の諸地域」とは異なる「身近な地域」を学習させようとする意図がみられた。「地域」と「郷土」はどのように違うか。「地域」と言った場合、一定の地域が同じ性質をもつ（等質地域）と共に、行政的な意味合いが強いと考えられる。都道府県・市町村、或は市の東部・西部と言った分け方（形式地域）が多いと考えられる。こうして昭和50年代、60年代から平成の初めまで、「地域」という言葉が「郷土」に変わって使われてきた。

平成18年、教育基本法の改正により、「教育の目標」として「我が国と郷土を愛する」ことが位置づけられた。平成20年代（小学校・中学校共に平成20年）になると学習指導要領においても再び「郷土」という言葉が用いられるようになった。「伝統と文化」「他国」を尊重し、国際平和に寄与するための「郷土愛」が主張されることとなった。人間の意識によって「地域」は変わっていく。人が主体となり、現代的で身近な課題を解決する「場」としての郷土のあり方が喫緊の課題となっている。「郷土愛」を育てるとは、偏狂な所属地域のためだけの利益をみざすものではなく「家族愛」の発展形として、また「祖国愛」や「国際平和」につながる感情として、人と地域とのかかわりを重視し、持続可能な発展社会をめざすバランス感覚のとれた愛情を育てることと考える。

## 3 『津島の達人ジュニア検定』の展開

### 3.1 『津島の達人ジュニア検定』の経緯

表2. 津島の達人ジュニア検定・選手権の経緯

平成19年度	「海部検定」作成(愛社研海部支部新プロジェクト委員会) 紙媒体・電子媒体で希望者に配布 ※中日・朝日・毎日新聞掲載
平成20年度	『信長の台所歴史検定尾張津島見聞録』 公式テキスト出版
平成21年度	第1回 津島の達人歴史検定 (一般向 以降毎年実施)
平成22年度	『尾張津島見聞録公式テキストジュニア版』出版 第1回 津島の達人ジュニア歴史検定 (小学校6年生向 以降毎年実施)
平成23年度	『津島の達人公式ドリル集』出版 第1回 津島の達人ジュニア選手権 (西尾張ケーブルテレビによるふるさとクイズ番組 以降毎年実施)

平成25年度	『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』改定 出版 『津島の達人ジュニア検定出前授業』 (市内の希望する学校で実施) 『津島の達人ジュニア選手権直前対策ゼミ』 (西尾張ケーブルテレビによるテレビ番組) 以降毎年収録、放映
平成27年度	『津島の祭検定 公式ジュニアテキスト』出版 『津島の祭検定直前対策講座』 (西尾張ケーブルテレビによるテレビ番組)を収録、放映 第1回 津島の祭ジュニア検定を開催

### 3.2 『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』 と改訂版の出版

平成 20 年度、私は郷土史家として多数の著作のある黒田剛司氏の依頼を受け『尾張津島見聞録公式テキスト』（一般向）の執筆を手伝うことになった。この書籍は『信長の台所歴史検定 津島の達人』を実施するための公式テキストで、津島の歴史（通史）・人物・産業・尾張津島天王祭・文化財などについてまとめられている。公式テキストは 12 月初めに完成した。この公式テキストをもとにした第 1 回の検定は平成 21 年 3 月に実施された。8 府県から 247 人が受検した。公式テキストは持ち込み可。四者択一の設問、50 問の内 7 割の正答で「津島の達人」の称号が贈られることとなった。なお津島市長をはじめとした全問正解者を平成 21 年 4 月の尾張津島藤祭りで表彰した。

平成 22 年度、私は愛知県総合教育センター研究部経営研究室長から津島市立蛭間小学校の校長に着任した。そこで「信長の台所 歴史検定実行委員会」からの依頼があり『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』を作成することになった。このテキストは私が執筆編集委員長となり、海部地区の若手社会科教師 15 名で作成した。内容は一般向の公式テキストを分かりやすくした。そのため「①津島のゆるキャラ（イメージキャラクター）をイラストとして使用する」「②大切な語句はゴシックにする」「③各節の末尾にクイズを設け、復習できるようにする」「④最終章に模擬試験を掲載する」など工夫を凝らし読みやすくした。

検定を開始し、3 年が過ぎた平成 25 年度には『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』の改訂版を加筆修正することになった。今までのテキストの表現で誤っていたり、誤解をまねきやすかったりする文章表現等を手直しすることにした。それに加え、「つし丸・マッキー・ふじか」などのゆるキャラをつかい、ゆるキャラが吹き出しの中で用語を説明する

などいっそう子どもたちにとって馴染みやすく分かりやすいテキストに仕上げた。



図 1 『尾張津島見聞録ジュニア版』

### 3.3 『津島の達人ジュニア検定出前授業』

平成 25 年度から、ジュニア検定のための出前授業を希望する小学校で行うことになった。原則学級単位で実施。毎年 4～5 校（市内 8 校中）で開催。執筆編集委員会で担当することになり、「名物特産・牛頭天王信仰（津島神社）・尾張津島天王祭・人物・濃尾大震災・伊勢湾台風・学校の歴史」についてプレゼンテーションを使い、出前授業を続けている。

### 3.4 『津島の達人ジュニア検定』

津島市内の校長会を通し、『津島の達人ジュニア検定』について以下のように提案し、すでに 5 年間検定を実施している。

- ① 1 月の第 2 週～第 4 週までの 2 週間の内に、各小学校で授業時間をつかって、検定を行う。
- ② 市内 8 小学校 6 年生全員を対象とする。
- ③ 当日公式テキストの持ち込みを認める。
- ④ 出前授業で学んだことを参考にして、テキスト最終章の「模擬試験」を学習する。
- ⑤ 冬休みに希望者にテキストを貸し出し、家族でテキストを読んだり、模擬試験を解いたりする。
- ⑥ 検定終了後は、各小学校の図書室でテキストを保管する。
- ⑦ 毎年、採点はこのテキストを執筆したメンバーで行い、結果の考察を市教委と各小学校に連絡する。



写真 1 津島の達人ジュニア検定

### 3.5 『津島の達人ジュニア選手権』

平成 23 年度、地域にあるケーブルテレビ会社の開局 20 周年の記念番組として『津島の達人ジュニア選手権』を制作することになった。このテレビ番組は「尾張津島見聞録ジュニア版テキスト」を活用し、歴史検定をクイズ番組として実施した。番組は 1 チーム 3 人による団体戦で、予選では歴史検定(1 人 20 点満点の合計 60 点)を実施し、成績上位の 16 チームが決勝に進出した。(毎年 40 チーム前後参加)決勝では 15 問のクイズまでは正答数を競い、そこで 1 位が決まらなかった場合(毎年全問正答チームが 5～6 チーム残る)は 15 問目からは正答数の 1 位のチームが決定するまでサドンレスでクイズ問題とそれに対する回答を繰り返し行った。平成 23 年度の第 1 回の収録・放映が話題となり、4 年間続けることになった。これはかつて子どもたちのクイズ番組として人気のあった『天才クイズ』の手法を取り入れながら、年々子どもたちがより歴史を楽しむことのできるテレビ番組となっていった。

### 3.6 『津島の祭ジュニア検定』

平成 27 年度『尾張津島天王祭車楽舟行事(朝祭)』が、全国 33 カ所の祭と共に、平成 28 年度の「ユネスコ世界文化遺産」登録をめざすことになった。そこで『津島の達人ジュニア検定』の番外編(姉妹検定)として『津島の祭ジュニア検定』を 9 月に実施した。この検定を行うために『津島の祭ジュニア検定公式テキスト』を作成した。また『天王子ども塾(祭を学ぶ)』を実施し、市内 60 人の小学生と一緒に学習会を実施した。西尾張ケーブルテレビのテレビ番組として『津島の祭ジュニア検定事前対策講座』を収録・放映した。

## 4 実践記録『津島の達人ジュニア検定』

### 4.1 平成 26 年度『津島の達人ジュニア検定』実施日・受検者数

小学校名	受検日	受検数(欠席)
A小	1月23日	123 (9)
B小	1月20日	105 (5)
C小	1月16日	94 (7)
D小	1月19日	45 (7)
E小	1月20日	77 (2)
F小	1月20日	62 (4)
G小	1月20日	39 (0)
H小	1月20日	73 (19)
受検者	671人中	618名
欠席		53名

※検定のための出前授業については、A小・C小・E小・F小・G小の5小学校で実施

### 4.2 『津島の達人ジュニア検定』5年間の受検者総数・平均点・百点取得児童数等の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
受検者総数	704 人	707 人	668 人	618 人	618 人
市全体平均点	84.3 点	82.8 点	82.5 点	85.5 点	85.7 点
市内100点児童数	139 人 19.7%	97 人 13.7%	114 人 17.1%	138 人 22.3%	158 人 25.6%
市内50点以下児童数	44 人 6.3%	46 人 6.5%	58 人 8.7%	37 人 6.0%	28 人 4.5%

5年間の『津島の達人ジュニア検定』の経年変化の表である。テキストを見ながら解答しても良いので平均点(正答)は8割をこえている。さらにこの2年間で85点に達した。受検者の中で100点をとった児童数も年々増加し、26年度には25%(4人に1人)となった。逆に50点以下の児童数は年々減り続け、44人いたのが28人まで減少した。ついに5%を切った。子どもたちの意欲的な学習、受検に対する前向きな取組の成果と考えられる。

### 4.3 『津島の達人ジュニア検定』に参加した児童の感想

- 社会科でも勉強しない津島のことを知ることが出来て良かった。祭りのことを知ると面白いので、今度祭りに行った時、気にしてみようかなと思いました。
- 津島神社に祀られている牛頭天王について初めて知った。津島に関する歴史をもっと知りたいと思った。邪馬台国のライバル狗奴国が濃尾平野にあったということを初めて知りました。
- この津島検定で色々なことを知ることができました。この間、津島神社に行く途中で石道標を橋詰三叉路で見つけました。教科書に載っていたものが自分の身のまわりにあることがわかり、ワクワクしてきました。
- もっと津島のことについて知りたいと思いました。津島のことを全然知らなかったけれど、津島のことをたくさん知ることができた。津島ってすごいなと思いました。
- 私は津島の歴史のことなど全然知りませんでした。この本を読み、津島のが分かって

本当に良かったと思えました。家族の皆も本当に勉強になると言っていました。

- 私の好きなのは尾張弁です。津島のことを知れば知るほど誇れる地元と思えました。
- 身近な歴史もややこしいですね。津島のすごいところや良いところを見つけることができました。この本はとても読みやすく、頭に入ってくるので良いと思えました。このテキストほしいな。
- 私の学区内にも、テキストに載っているものがあり、ビックリしました。また、この津島に有名人が住んでいたたり、来ていたりしていたことがわかりました。これからも津島から有名人が出てくれるとすごいなあと思います。私は津島の達人になれるように、津島のことをもっと知りたいです。勉強したことを早くみんなに伝えたいと思えました。
- テキストは時代ごとに分かれていて勉強しやすい。キーワードも復習しやすかった。
- テキストを見なくても解ける問題が多かったので、良かったです。テキストに載っている問題ばかりで良かったです。津島のことを沢山知ることができました。次の年の人たちにも津島の達人になってほしいです。
- 検定問題の下にヒントがのっているので、とても探しやすいわかりやすい。
- 自分の住んでいる町なのに知らないことが多かった。この勉強をして良かったと思えます。津島四家七苗字は覚えられない人が多いので、是非出題した方が良いと思えます。
- 私は津島市に引っ越してきて1年しか経っていないけれど、津島の歴史の素晴らしさが分かりました。勉強のやりやすい歴史検定です。

#### 4.4 『津島の達人ジュニア検定』採点者の感想・意見

- 26年度の検定では、平均点が90点以上の学校が2（昨年度3）校、80点以上の学校が4（同4）校、70点以上の学校が2（同1）校と、昨年とほぼ同様の結果となった。
- 26年度も平均点、100点の人数、50点以下の人数ともに経年変化を見ると、過去最高の成績であった。経年変化を見てみると、年々成績が良くなっていることがわかる。
- 「三本柿街道」「上街道」「高須街道」を混同

している児童が多かった。

- 問題は少し難しかったが、テキストを勉強すると楽しかったという感想が目立った。
- 解答欄が狭いという意見があった。時間が足りないという感想も多数あった。
- 「寺社や街道を実際に見たり、歩いたりしたい」という感想があり、嬉しかった。
- 問題はテキストの編集順で出題するとヒントを見て調べやすいという感想があった。

#### 4.5 『津島の達人ジュニア検定』の出題例

##### 正答例

- 次の写真は、かつて津島神社にまつられていた天王です。下の中から、記号で答えなさい。

【ヒント 5津島神社と祭り】



- ア 牛頭天王
- イ 津島天王
- ウ 尾張天王
- エ 四天王

- 尾張地方で弥生時代につくられ、溝に囲まれた四角形の墓の名前を記号で答えなさい。

【ヒント 1大昔の世の中】

- ア 方形周溝墓
- イ 方墳
- ウ 甕棺
- エ 墳丘墓

- 邪馬台国のライバルで濃尾平野にあったかもしれないと考えられる国の名前について記号で答えなさい。

【ヒント 1大昔の世の中】

- ア 投馬国
- イ 伊都国
- ウ 末蘆国
- エ 狗奴国

- 明治20年、海東郡・海西郡では3校つくられた尋常小学校を卒業してから進学する学校の名前を記号で選びなさい。

【ヒント 7新しい世の中】

- ア 国民学校
- イ 高等小学校
- ウ 青年学校
- エ 師範学校



「中一色学校」（義校）

※義校とは、明治初めの小学校

○津島下街道には、熱田から佐屋へ向かう道と津島へ向かう道が分かれる「追分」がある。この追分がある地名を何というか、記号で選びなさい。

【ヒント 4江戸幕府・尾張藩の世の中】

- ア 今市場           イ 日置  
ウ 埋田           エ 根高

○江戸時代、津島を代表して、養老焼を作った陶芸家の名前を記号で答えなさい。

【ヒント 4江戸幕府・尾張藩の世の中】

- ア 加藤春岱       イ 加藤唐九郎  
ウ 大橋秋二     エ 大橋武左衛門



○左の本は石橋庵真酔が文化11年にかいた滑稽本です。本の名前を書きなさい。この本はどの街道を歩いていますか。街道の名前を書きなさい。

【ヒント 4江戸幕府・尾張藩の世の中】

津島・上街道

○本能寺の変の後、清須会議で清洲城主となったのは次のうち誰か、記号で答えなさい。

【ヒント 3天下統一の世の中】

- ア 織田信秀   イ 織田信雄  
ウ 織田信包   エ 織田信孝

## 5 実践記録『津島の達人ジュニア選手権』

### 5.1 小学校別平成26年度 『津島の達人ジュニア選手権』参加チーム数・決勝進出チーム数

小学校名	予選参加チーム数 (25年度)	決勝参加チーム数 (25年度)
A小	12 (7)	7 (2)
B小	7 (8)	1 (1)
C小	6 (1)	2 (1)
D小	5 (5)	3 (4)
E小	2 (1)	0 (1)
F小	3 (3)	1 (2)
G小	1 (8)	1 (4)
H小	3 (4)	1 (1)
参加チーム	39 (37)	16 (16)
参加者数	117名 (111名)	

### 5.2 『津島の達人ジュニア選手権』参加児童アンケートの結果

◎『津島の達人ジュニア選手権』に参加したのは、  
(人)

- ★津島の歴史が好きだから 25
- ★クローバーテレビに出演したかった 7
- ★先生や学校にすすめられて 7
- ★友達に誘われて 38
- ★その他 14

- 津島のことが知りたい 1
- リベンジ・今年は本戦に出場を 5
- 思い出に 7
- 楽しそう・面白そう 7

◎『津島の達人ジュニア選手権』に参加して

- 津島の歴史が好きになった 90
- 別に変わらない 11
- 嫌いになった 1

### 5.3 『津島の達人ジュニア選手権』参加児童の感想

- とても勉強になったし、来年もやりたいと思った。来年はもっと勉強して津島の達人に応募したい。とても楽しかったです。
- 今年こそ本戦に出たいです。今日のために一杯勉強したので、本当に良い機会だなと思いました。前日に3人で図書館で勉強しました。「昨年と検定問題が似ている」と思いました。
- いろいろ難しくて分からなかったけれど、解説で分かって一つ勉強となりました。5問中3問しかあっていなかったけれど、試験で頑

張って挽回しようと思いました。歴史は大好きです。

- 思っていた以上に楽しく、良くできていて良かったです。津島の歴史のことが分かり楽しかったです。これからも続けていきたいと思いました。
- 自分の住んでいる所にこんな歴史があるとは知らなかった。いろいろなことを知ることができて楽しかった。津島のことがくわしくなった。
- 緊張してしまったけれど、自分がやれることを精一杯頑張った。ジュニア選手権のために勉強しているとき「へえー」と思ったことが一杯ありました。
- 今まで歴史についてあまり興味をもってはいませんでした。けれど今日、この「津島の達人ジュニア選手権」に参加して、歴史について興味をもちました。これからも機会があれば、歴史について学びたいと思いました。休憩時間に勉強していたところが出たので助かりました。
- 津島のことがよく分かりました。津島の良いところが一杯分かり、こんなに良い所があるんだと思いました。すごく勉強になったので良かったです。
- 去年より問題が難しい。今年は決勝に出られるか不安です。でも津島の達人は楽しい。津島の達人で知ったことが一杯ある。勉強して良かったと思います。
- 津島の歴史について何も知らなかったけれど「津島の達人ジュニア選手権」に出ることが決まってから、歴史を知る良いきっかけとなりました。有名な人物や食べ物を知ることができました。もう参加することはできなくなるけど何回も参加したい気持ちになりました。
- 予想していた問題とかなり違ったので苦戦しました。友達は頭も良く、津島についてかなり知っているのを足を引っ張ってしまいました。これからはもっと勉強したいと思います。この機会があつて良かったと思います。しっかり勉強できて良かったです。
- 津島の歴史は全国につながっているとあらためて思いました。
- 去年とは問題も違って難しかったです。テス

トの時、いつも緊張するけど何となく楽しかったです。「津島の達人ジュニア選手権」のお陰で津島の歴史を沢山知ることができました。

- 勉強は一杯したけれど分からない問題がありました。写真を見て答える問題だったので、特に難しかったです。道標は知っていたけどどの街道沿いにあるかはすぐに分かりませんでした。
- 私は津島のことはあまり知りませんでした。津島は貧乏だということだけでした。津島の歴史を知り、こんなにすごいことがあったんだということを知りました。津島は自慢できる街です。
- 車に乗っている時「鹿伏兎」という標識があり、「なんで鹿と兎なんだろう？」と思っていただけこの勉強をしていたら、成り立ちが分かって面白かったです。
- 今日の「津島の達人ジュニア選手権」に出て、沢山津島のことを知ることができました。今日までに得た知識を忘れないようにしたいし、新たな知識が得られるようにこれからも私たちのふるさとについて関心を持ちたいと思います。
- 津島は田舎で特徴のない街だと思っていましたが、歴史が深いということが分かりました。特に織田信長などの有名人ともつながっていてびっくりしました。友達と一緒にできるので楽しいです。

#### 5.4 『津島の達人ジュニア選手権』の出題例

- 津島市の市の鳥は「しらさぎ」である。○か×か。



- 答は○。市の鳥は「しらさぎ」市の花は「フジ」【テキスト P102 9 文化財と名産・名物】

【解説】津島市の市の鳥は「しらさぎ」です。1年を通して、津島のあたりは小サギ・中サギ・大サギが多いことから市の鳥はシラサギとなっています。ちなみに市の花は「フジ」です。テキスト P102 9 文化財と名産・名物をご覧ください。

○津島のお土産で、馬を飼う道具に似ているのは「あかだ」である。



●答は×。このうずまきの形をしているのは「くつわ」

【テキストP101 9文化財と名産・名物】

【解説】津島の代表的なお土産は「あかだ・くつわ」です。「くつわ」はうずまきと言われ、天保11年(1840)近江屋弥三郎が作ったと言われていました。【テキスト P101 9文化財と名産・名物】をご覧ください。

○この絵は、江戸時代の尾張地方の旅行ガイドブック『尾張徇行記』である。



●答は×。ガイドブックにあたるのは『尾張名所図会』。

【テキストP43 4江戸幕府・尾張藩の世の中】

【解説】ガイドブックにあたるのは『尾張名所図会』。野口道直の文。小田切春江の挿絵。『尾張徇行記』は村の様子を伝えるもので、今で言うなら「市町村政要覧」です。【テキストP43 4江戸幕府・尾張藩の世の中】をご覧ください。

○鎌倉時代の地藏菩薩立像があるのは、米之座町にある『西運寺』である。

●答は×。 答えは「西光寺」。

【テキスト 2 武士の世の中 P14】



【解説】西光寺の「地藏菩薩立像」は鎌倉時代の仏像です。明治時代、京都から篤志家によって移されました。県の指定文化財となっています。【テキスト 2 武士の世の中 P14】に記載しています。

## 6 成果と課題

- ① 実践をはじめて5年が経過した。「テキストづくり」「検定のための出前授業」「検定」「選手権のための直前対策講座」「選手権」と学習の流れは整ってきた。ところが、学級・学校により学習の取り組み方に温度差が見られるようになってきている。
- ② 今年度から市教委の初任者研修の一つとして「津島の達人(地域)学習講座」を実施することになった。今後、前向きな実践の取り組みにつなげていきたい。
- ③ 『津島の達人ジュニア検定』の実践を通して、津島のまちについて豊富な知識を身につけることができた。まちを「知る」ことにより「大好きになる」ことができるようになった。その反面、知識重視・暗記重視の学習となっている。
- ④ この成果(知識と学習意欲)を社会科の「探究」や総合的な学習の調べ学習に生かしたい。
- ⑤ そして「津島のまちづくり」を真剣に考え、協働できる子どもたちを育てたい。そのため更なる地域と学校との相互連携を進める学習を展開していきたい。

### 参考文献

「郷土愛はふるさと検定から—『信長の台所ジュニア歴史検定津島の達人』の実践を通して—」平山勉・浅井厚視(名城大学教職センター紀要第9巻 2012年)  
「郷土愛はふるさと検定からⅡ—『津島の達人ジュニア選手権』の実践から—」平山勉・浅井厚視(名城大学教職センター紀要第10巻 2013年)  
「今日の授業実践から明日の授業実践を創造する」平山勉編黎明書房 2013年

(原稿受理年月日 2015年11月23日)